

令和 2 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

地域包括支援センター

姫路市網干地域包括支援センター

令和2年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>住み慣れた所で、その人らしい生活の継続がかなうように、専門職同士が自助・互助・共助・公助を意識しつつ、ワンチームとして、多職種協働での支援を目指す。</p>
<p>理 由</p>	<p>前年度に引き続き自立支援や重度化予防の視点で予防プランを計画し、対応していくことで利用者本位の支援を図りたいため。 さらに自己実現を目指し、利用者との合意形成を図りつつ、フォーマル、インフォーマルサポートを交えた支援内容を作成し、その人らしい生活が維持できるように多職種協働による支援をすすめていきたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自立支援や重度化予防の視点を豊富し、経験則をあげるため、「自立支援ケア検討会議」に事例を提供し、参加する。 2. 社会資源の把握と協働体制（ネットワーク）の構築を図るため、多職種協働に関する研修に参加し、情報交換を行う。 3. 自助・互助・共助・公助を意識し、適宜、収集したフォーマル、インフォーマルサポートに関する情報を更新し、センター内で情報交換をしていくことで、共通認識とスキルアップを図る。

令和2年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>前年度に引き続き自立支援や重度化予防を意識した予防プランを立案できるように「自立支援ケア検討会議」に事例を提供し、各専門職から助言をプランに反映したことで、知識と技術が高められ、個々の職員のスキルアップにつながっている。</p> <p>また、事業所内で自立支援の考え方に関する研修を行い、意見交換をしていることで少しずつではあるが、フォーマル、インフォーマルサポートを交えた支援への意識化が図れている。</p> <p>社会資源の把握と協働体制（ネットワーク）の構築を図るための多職種協働に関する研修にはリモートで参加したことから通常での研修とは、異なり、情報交換をする機会は少なかった。</p> <p>コロナ禍の中、引き続き利用者が住み慣れたところでその人らしい生活が継続できるように多職種協働による支援に努めていきたい。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>網干校区、網干西校区ともに人口は微減している中、高齢化率は微増しており、地域包括支援センターへの相談は昨年とほぼ同数となっている。コロナ禍から来所相談は昨年に比べ13%減っているが、その反面、電話や訪問による相談件数は増えている。</p> <p>新規契約者は増えているものの、コロナ禍から予防サービスの利用控えが観られ、実質の利用者数は横ばいである。</p> <p>今年度は感染症予防の観点からいきいき百歳体操や認知症サロンの自粛があり、保健師を中心に各担当職員はフレイル予防や重度化予防の視点に立ち、啓発活動に努めた。</p> <p>圏域4包括にて継続して開催していた「介護者のつどい」について、3密を避けるため、開催を見合わせていたが、介護者からの希望が多数あったことを踏まえ、今後は、感染症対策を十分に講じつつ、小規模でも開催していく予定である。</p> <p>引き続きコロナ禍でいきいき百歳体操や認知症サロン等の自粛に伴いフレイル等が案じられるため、次年度はアフターコロナを意識した取り組みを考え、実行していきたい。</p>

令和2年度

予防プラン数

プラン数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自前	164	164	163	162	160	167	164	162	163	149	154	159	1,931
委託	123	130	129	134	135	134	137	140	134	130	124	123	1,573
合計	287	294	292	296	295	301	301	302	297	279	278	282	3,504
新規	12	6	5	8	13	11	12	13	5	3	7	5	100

住宅改修理由書作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

総合相談・保健活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	64	62	39	42	49	48	58	61	92	52	49	52	668
来所	17	20	26	29	25	22	26	21	15	12	13	19	245
訪問	20	33	26	26	30	36	33	45	35	42	35	46	407
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	101	115	91	97	104	106	117	127	142	106	97	117	1,320

地域密着型サービス運営推進会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加回数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※地域密着型サービス→あゆみ愛GH・小規模多機能/古民家ぬくもりデイ/風の谷デイ/希望デイ/アロハデイ

西保健センター連絡会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※各校区民生児童委員代表が出席し、地域の高齢者の生活状況や問題点に関して共通意識を持ち、学ぶ会議

認知症サポーター養成講座・介護者のつどい（講師・主催）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※地域や職場で認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」の養成。認知症高齢者を介護する家族の支援

ケアマネジャー研修事業（主催・参画）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	5

※地域のケアマネジャーの資質向上や情報交換を目的として実施。ブロック研修・リーダー会議 主任CM交流会

地域との連携（交流行事、講演研修会、ふれあい給食、役員会参加など）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	1	7

施設外研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人員	日付	期間	場所	研修結果の報告方法
第1回網干包括ブロック研修	倫理について	介護支援専門員等	6名	7月21日	1日間	網干市民センター	口頭・復命
地域包括支援センター 認知症担当職員連絡会	他職種による認知症初期集中支援事業マニュアル(事例発表・グループワーク・情報交換)について	認知症担当	1名	7月27日	1日間	総合福祉会館	口頭・復命
第1回地域包括支援センター 社会福祉士等連絡会	地域包括システム、高齢者の権利擁護(実態調査報告)、虐待対応状況について	社会福祉士	1名	7月30日	1日間	総合福祉会館	口頭・復命
西播磨在宅介護連絡会	モチベーションについて	4職種	4名	8月5日	1日間	事務所(Zoom)	口頭・復命
高齢者・障害者の消費生活被害防止研修会	特殊詐欺被害について	社会福祉士	1名	8月6日	1日間	兵庫県姫路職員福祉センター	口頭・復命
認知症サロンにおける早期発見・早期対応	認知症の早期発見・早期対応の必要性について	主任介護支援専門員・認知症担当	2名	8月12日	1日間	防災センター	口頭・復命
ケアマネジメント力向上会議	事例検討について	主任介護支援専門員・認知症担当・プランナー	5名	8月27日	1日間	網干市民センター	口頭・復命
第2回網干包括ブロック研修	感染症について	介護支援専門員等	6名	9月17日	1日間	網干市民センター	口頭・復命
倫理研修	日常にある医療倫理について	社会福祉士	1名	10月9日	1日間	事務所	口頭・復命
第2回地域包括支援センター社会福祉士等連絡会	自筆証書遺言書保管制度、セルフケアプロジェクトについて	社会福祉士	1名	10月19日	1日間	総合福祉会館	口頭・復命
ケアマネジメント力向上会議	事例検討について	社会福祉士・認知症担当・プランナー	3名	10月22日	1日間	網干市民センター	口頭・復命
キャラバン・メイト フォローアップ研修	認知症施策のこれから 認知症サポーター養成講座の伝え方について	主任介護支援専門員・認知症担当	2名	11月13日	1日間	総合福祉会館	口頭・復命
医療・介護関係者研修	コロナで現場はどう変わったのかについて	主任介護支援専門員・社会福祉士・認知症担当	4名	12月14日	1日間	事務所(Zoom)	口頭・復命
令和2年度第1回医療・介護連携による人生の最終段階における対応向上研修会	終末期医療とコロナウイルス感染症対策について	社会福祉士	1名	2月27日	1日間	事務所(Zoom)	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
地域包括支援センター 認知症担当職員連絡会	認知症サロンの継続支援、DASC、受診勧奨について	認知症担当	1名	3月2日	1日間	総合福祉会館	口頭・復命
第3回地域包括支援センター-社会福祉士等連絡会	社会福祉士の倫理綱領について	社会福祉士	1名	3月8日	1日間	総合福祉会館	口頭・復命
第3回網干包括ブロック研修	自立支援の考え方について	介護支援専門員等	6名	3月9日	1日間	網干市民センター	口頭・復命
法テラス兵庫地方協議会	福祉系関係機関と法テラスについて	主任介護支援専門員・社会福祉士・認知症担当	4名	3月19日	1日間	事務所（ズーム）	口頭・復命
地域ケア会議市町・地域包括支援センター職員向け研修	地域ケア個別会議における地域課題発見から政策課への展開について	主任介護支援専門員・社会福祉士・認知症担当	4名	3月22日	1日間	事務所（ズーム）	口頭・復命

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
令和2年 4月30日	<p>「連絡調整について」</p> <p>12時頃に利用者家族から退院に関する相談があったが、担当者が不在で戻りしだい連絡をすると伝えていた。</p> <p>担当者が戻り、相談内容を伝えていたが、連絡をとらず、他の訪問を優先していたことで、15時頃、利用者家族から「ずっと待っているのに連絡がない。買い物へも行けない」との申し出がある。</p>	<p>①電話対応職員が対応の不備を謝罪する。</p> <p>②関係事業所に連絡し、必要なサービス調整を行い、利用者家族に状況報告をする。</p> <p>③今後は担当者が即、対応できない場合は、他職員が代行し、円滑な対応に努めていくことを説明すると理解が得られた。</p> <p>④担当者が利用者宅を訪問し、陳謝する。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和2年 8月5日	<p>「公用車の接触事故」</p> <p>乗車前に車を確認したところ、見慣れない傷を発見する。また、周囲を確認したところ、駐車場前の店舗の雨どいが破損しており、傷と合致したため、店主に謝罪する。</p>	<p>①心に余裕を持った運転に努める。</p> <p>②発車前に外壁等の位置関係を把握する。</p> <p>③車幅間隔を身につけ、駐車場の幅が限られる場所では、周囲の状況を確認しつつ、慎重に操作する。</p> <p>④接触しそうな場合は、前進せず、後退操作を行う。</p>
令和2年 11月25日	<p>「会議日の失念」</p> <p>保健師・看護師ワーキンググループの会議の日を失念し、新規利用者宅に訪問していたため、参加者を待たせただけでなく、時間に間に合わず、不参加となった。</p>	<p>①公の会議日はカレンダーや行事予定表に記載する。</p> <p>②利用者から相談を受けた時は、記載している予定を確認してから日程調整を行う。</p> <p>③毎朝、予定がだぶっていないか、確認し、だぶっていた場合は、双方に連絡し、時間の調整を行う。</p>
令和2年 12月4日	<p>「申請書の誤送付」</p> <p>安心コールの設置を希望された方に申請書を届けようとしたが、表札なく、不在と思い、郵便受けに投函した。</p> <p>事業所に戻り、民生委員から電話番号を聞き、かけると在宅中で、違う家に投函したことが分り、再度、訪問し、誤って投函したことを謝罪し、申請書類を受け取る。</p>	<p>①先に民生委員から電話番号を聞き、事前に連絡し、日程調整を行ってから申請書類を手渡す。</p>